

デンマーク

Kingdom of Denmark

	2005年	2006年	2007年
①人口：548万人（2007年）			
②面積：4万3,098km ²			
③1人当たりGDP：5万7,261米ドル （2007年）			
④実質GDP成長率（%）	2.5	3.9	1.8
⑤貿易収支（デンマーク・クローネ、財サービス）	763億7,300万	450億6,500万	194億6,700万
⑥経常収支（デンマーク・クローネ）	680億1,800万	433億3,600万	187億7,700万
⑦外貨準備高（米ドル）	329億3,040万	297億2,370万	325億3,440万
⑧為替レート（1米ドルにつき、 デンマーク・クローネ、期中平均）	5.9969	5.9468	5.4437

〔出所〕 ①②⑤⑥：デンマーク統計局，③⑦⑧：IMF，④：デンマーク財務省

2007年のデンマーク経済は、内需の低迷、輸出の伸び悩みなど年初より減速し、実質GDP成長率は1.8%にとどまった。貿易は、輸出入ともに低調だったが、暖冬による石油輸出の停滞から特に輸出が伸び悩んだ。直接投資は、対内、対外ともに低調だった前年に比べ活発で、特に金融部門では大型の投資が行われた。

■内外需ともに景気は減速へ

2004年から好況を謳歌してきたデンマーク経済は2007年に入り減速し、実質GDP成長率は前年の3.9%を大きく下回る1.8%にとどまった。

好況は2003年の住宅ローン制度改正により住宅価値を担保とするローンが普及したことと、所得税減税などにより個人消費と建設投資が活発だったことによる。しかし、2007年初めにはそれらの効果も薄れ、個人消費が鈍化し、住宅価格も下落に転じた。年後半にはサブプライムローン（米国の信用力の低い個人向け住宅融資）問題も表面化し、住宅価格の下落に拍車がかかった。さらに、石油や食品価格が高騰したことも個人消費意欲の減退に追い討ちをかけた。この結果、個人消費は前年比2.5%増にとどまり（前年は3.8%増）、住宅投資は前年の12.2%増から4.5%増に減速した。前年9.0%増と好調だった輸出（財・サービス）も暖冬による原油・石油製品の伸び悩みの影響で3.7%増と伸び悩んだ。

失業率は好況が続いた結果、2007年は2.7%と記録的に低く、2008年3月には2.0%まで下がったが、労働力不足、賃金上昇に対する懸念も出始めている。デンマーク財務省が2008年5月に発表した経済見通しでは、2008年が1.2%、2009年が0.7%の成長を予測しており、2月に発表した予測1.4%、1.0%をそれぞれ下方修正した。

■貿易黒字は減少傾向

2007年の貿易は、輸出が前年比2.2%増の5,558億3,900

表1 デンマークの主要品目別輸出入

(単位：100万Dkr, %)

	輸 出				輸 入			
	2006年	2007年			2006年	2007年		
	金 額	金 額	構成比	伸び率	金 額	金 額	構成比	伸び率
食 料 品	85,984	88,356	15.9	2.8	46,571	50,652	9.4	8.8
肉・同調製品	29,334	28,759	5.2	△2.0	7,117	7,406	1.4	4.1
原 材 料	22,007	21,174	3.8	△3.8	14,800	16,109	3.0	8.8
鉱 物 性 燃 料	63,795	55,913	10.1	△12.4	33,085	30,090	5.6	△9.1
原油・石油製品	49,766	43,990	7.9	△11.6	27,610	24,294	4.5	△12.0
化 学 品	68,289	72,789	13.1	6.6	54,567	58,938	11.0	8.0
医 薬 品	38,657	40,217	7.2	4.0	15,410	16,980	3.2	10.2
原 料 別 製 品	55,621	61,657	11.1	10.9	84,829	94,966	17.7	11.9
鉄 鋼	9,193	10,939	2.0	19.0	20,046	24,292	4.5	21.2
非鉄金属製品	3,179	4,154	0.7	30.7	8,690	8,958	1.7	3.1
機 械 類	145,433	150,116	27.0	3.2	182,234	188,334	35.0	3.3
発 電 機	21,883	23,231	4.2	6.2	10,157	13,175	2.5	29.7
一 般 機 械	35,406	40,713	7.3	15.0	24,494	28,422	5.3	16.0
通 信 機 器	19,517	16,007	2.9	△18.0	26,998	22,698	4.2	△15.9
電 気 ・ 電 子 機 器	19,123	19,196	3.5	0.4	27,605	27,823	5.2	0.8
輸 送 用 機 器	8,864	6,186	1.1	△30.2	11,790	10,722	2.0	△9.1
雑 製 品	85,779	89,156	16.0	3.9	75,084	82,586	15.4	10.0
家 具 ・ 同 部 品	15,953	16,319	2.9	2.3	8,164	9,419	1.8	15.4
合 計	543,849	555,839	100.0	2.2	506,495	537,549	100.0	6.1

〔注〕表2とも、EU域外貿易は輸出（FOB）、輸入（CIF）ともに通関ベース、域内貿易はインボイスベース。

〔出所〕表2、7とも、デンマーク統計局。

表2 デンマークの主要国・地域別輸出入

(単位：100万Dkr, %)

	輸 出				輸 入			
	2006年		2007年		2006年		2007年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU 27	378,697	383,018	68.9	1.1	366,054	397,831	74.0	8.7
EU 15	347,924	348,493	62.7	0.2	337,498	363,932	67.7	7.8
ドイツ	91,655	93,674	16.9	2.2	108,624	116,980	21.8	7.7
スウェーデン	77,096	81,120	14.6	5.2	71,587	77,621	14.4	8.4
英国	47,689	44,322	8.0	△7.1	28,874	27,605	5.1	△4.4
オランダ	28,482	25,317	4.6	△11.1	31,703	38,525	7.2	21.5
フランス	24,989	25,280	4.5	1.2	22,273	22,088	4.1	△0.8
イタリア	18,082	18,478	3.3	2.2	20,046	22,503	4.2	12.3
EU04年加盟国	28,994	32,449	5.8	11.9	27,877	33,413	6.2	19.9
ポーランド	11,052	12,739	2.3	15.3	11,742	13,581	2.5	15.7
EU07年加盟国	1,779	2,077	0.4	16.8	679	486	0.1	△28.4
EU加盟候補国	3,184	4,153	0.7	30.4	5,250	5,741	1.1	9.4
ノルウェー	30,664	33,869	6.1	10.5	23,388	22,326	4.2	△4.5
ロシア	9,785	10,522	1.9	7.5	8,219	7,844	1.5	△4.6
米国	36,232	35,615	6.4	△1.7	16,537	18,101	3.4	9.5
中国	6,927	9,676	1.7	39.7	26,504	29,883	5.6	12.7
日本	11,027	10,408	1.9	△5.6	4,655	3,927	0.7	△15.6
合計	543,849	555,839	100.0	2.2	506,495	537,549	100.0	6.1

11.9%増、EU07年加盟国(0.4%)は16.8%増とともに順調な伸びとなった。EU域外で最大の輸出先である米国(6.4%)は、ドルの下落などにより原油・石油製品がほぼ半減したのをはじめ、多くの品目が減少した結果、1.7%減となった。一方、前年に31.8%増と大幅な伸びとなったロシア(1.9%)は、機械類が好調だったことから7.5%増と引き続き拡大した。中国(1.7%)も機械(特に発電機)と医薬品が大幅に伸びたことから39.7%増と大幅な伸

万デンマーク・クローネ(以下、Dkr)、輸入は6.1%増の5,375億4,900万Dkrとなり、貿易収支は182億9,000万Dkrの黒字となった。輸入の伸びが輸出の伸びを上回った結果、黒字幅は前年の373億5,400万Dkrから半減した。

輸出を品目別にみると、最大の品目は機械類(構成比27.0%)である。中でも最大の品目である一般機械(7.3%)がドイツ、スウェーデンなど周辺諸国向けに好調で15.0%増と大幅な伸びを示した。また、風力発電機の輸出が好調で、米国、英国、中国、イタリア、スペイン向けなどが増加したことから、発電機全体で6.2%増となった。一方、通信機器は国外への生産移管が進んだことなどにより近年は減少傾向にあり、18.0%減と大幅な落ち込みとなった。原材料価格の高騰により、鉄鋼・非鉄金属製品を含む原料別製品も10.9%増を記録した。

ただし、原油価格の高騰を受けて近年の輸出増に貢献してきた原油・石油製品(構成比7.9%)は、西欧地域の2006~2007年が暖冬だったことや通貨高などにより11.6%減と大幅な減少となり、輸出低迷に大きく影響した。

国・地域別にみると、EU27が全体の68.9%を占めている。国別では16.9%を占め最大の輸出先であるドイツが2.2%増で、第2位のスウェーデン(構成比14.6%)が5.2%増だった。これに次ぐ英国(8.0%)が7.1%減、さらにオランダ(4.6%)も11.1%減と不振だった。両国への輸出不振は、主力輸出品目である原油・石油製品が大幅減となったためである。EU04年加盟国(5.8%)は

びをみせている。

輸入を品目別にみると、機械類(構成比35.0%)が最大で3.3%増だった。中でも一般機械(5.3%)が16.0%増、発電機(2.5%)が29.7%増と好調だった。2005年に42.4%増と大幅な伸びを示した通信機器(4.2%)は、2006年(前年比6.2%減)、2007年(15.9%減)と2年連続で減少した。前年に21.4%増と大幅な伸びを示した輸送用機器も9.1%減と低迷した。低迷の理由としては、2007年4月に自動車関連税制が改定され、商用車やスポーツ用多目的車など中・大型車の税率が大幅に引き上げられ、小型の低燃費車の税率が引き下げられたことが挙げられる。税制改正後、商用車、大型車の販売が頭打ちになった。

国・地域別にみると、輸出同様、最大の輸入元はEU27(構成比74.0%)で8.7%増を記録した。国別では、輸出同様にドイツ(21.8%)が首位で機械、化学品などを中心に7.7%増と堅調な伸びを示した。

EU04年加盟国(6.2%)は19.9%増と大きく伸びて、その中で最大の輸入元であるポーランド(2.5%)は、電気機械、木材や金属製品などが好調で15.7%増の伸びとなった。

■対内・対外投資ともに回復

2007年の対内直接投資(実行ベース、ネット、フロー)は437億Dkrと、前年の257億Dkrから大幅に増加した。多くの業種で引き揚げ超過となった前年と一変し、ほぼすべての業種でプラスとなった。特に金融・関

表3 デンマークの業種別対内直接投資
＜実行ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万Dkr)

	2006年	2007年
農業・水産業・鉱業	△2,400	2,200
製造業	△2,900	1,300
金属製品	2,300	1,500
食品	△1,900	700
石油関連製品	△2,500	△1,500
商業・ホテル・レストラン	16,200	2,400
運輸・通信	200	16,500
金融・関連サービス	8,600	27,400
合計	25,700	43,700

〔注〕表4～6とも、利益再投資を含む。

〔出所〕表4～6とも、デンマーク中央銀行。

表4 デンマークの国・地域別対内直接投資
＜実行ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万Dkr)

	2006年	2007年
E U 27	36,200	30,900
英国	5,900	15,700
ドイツ	△1,200	3,500
スウェーデン	17,100	3,300
フランス	△28,700	3,000
ベルギー	3,400	1,100
イタリア	△800	600
オランダ	12,400	△700
ノルウェー	△3,100	1,100
スイス	△2,900	△1,400
米国	△2,500	7,600
ロシア	900	0
アジア	1,400	△1,100
日本	100	100
中国（香港と台湾を除く）	300	100
合計	25,700	43,700

連サービスが274億Dkr、運輸・通信が165億Dkrと大きい。

国・地域別では、英国、米国などが大きく伸び、ドイツ、スウェーデン、フランスなども堅調だった。

2007年の大型の投資事例をみると、金融・関連サービスではアイスランドの企業による案件が多く、5月に投資会社フォンスが不動産大手ケオプスの株式30%を13億Dkrで取得し、6月に同じくアイスランドの投資会社バウガーが35億Dkrを投じ、スカンジナビア地域の不動産投資会社を設立した。このほか、英国の保険会社ロイヤル&サン・アライアンス（RSA）が大手保険会社コダンの未保有株を取得した事例も大型案件である。運輸・通信では、2月に携帯電話卸大手ダンガード・テレコムが、米国の投資会社ブライトポイントに18億Dkrで買収されている。6月には、バルト海を中心に海運を行ってきたユニフィーダが英国の投資会社モンタギュー・プライベート・エクイティーに20億Dkrで買収された。運輸・通信では2008年も引き続き積極的な

表5 デンマークの業種別対外直接投資
＜実行ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万Dkr)

	2006年	2007年
農業・水産業・鉱業	2,400	6,600
製造業	20,500	10,900
金属製品	4,100	2,300
石油関連製品	10,400	500
食品	3,800	△1,400
商業・ホテル・レストラン	800	△400
運輸・通信	10,500	100
金融・関連サービス	19,000	74,300
合計	55,000	90,800

表6 デンマークの国・地域別対外直接投資
＜実行ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万Dkr)

	2006年	2007年
E U 27	1,500	31,100
オランダ	2,200	5,600
英国	△37,000	4,700
フランス	3,200	3,100
ベルギー	△2,000	2,700
イタリア	2,900	400
スウェーデン	9,900	△3,200
ドイツ	167,600	△13,200
ノルウェー	9,400	9,900
スイス	4,500	4,200
米国	9,900	10,700
ロシア	500	300
アジア	10,000	8,100
日本	1,300	200
中国（香港と台湾を除く）	2,400	3,900
合計	55,000	90,800

大型投資がみられ、1月には、携帯電話や補聴器のスピーカーの製造販売を行うソニオンが、米国のテクニトロールに20億Dkrで買収されている。医療機器ではスウェーデンの投資会社EQTパートナーズが、2007年5月に診断薬・機器のダコ・デンマークを72億5,000万Dkrで買収した。食品では、食品製造大手ダニスコが2007年7月に香料部門を、スイスの香料製造大手フィルメニッヒに34億Dkrで売却した。

2007年の対外直接投資額は、前年の550億Dkrから908億Dkrと、好調だった2005年（1,036億Dkr）の水準に近づくほどの回復ぶりとなった。世界的好景気の影響を受けた2005年に、大々的に投資が行われた反動で2006年には縮小気味だったものの、2007年には再び活発になった。

業種別にみると、金融・関連サービスが743億Dkrと突出している。ダンスケ銀行が2007年2月にフィンランドのサンポ銀行を301億Dkrで買収したことの影響が大きい。デンマークの2007年の対外直接投資ではこれが

表7 デンマークの対日主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位：100万 Dkr, %)

	輸 出 (FOB)				輸 入 (CIF)			
	2006年		2007年		2006年		2007年	
	金 額	金 額	構成比	伸び率	金 額	金 額	構成比	伸び率
食 料 品	5,049	4,465	42.9	△11.6	7	10	0.3	42.9
肉 ・ 同 調 製 品	4,262	3,783	36.3	△11.2	0	0	0.0	0.0
化 学 品	2,181	2,574	24.7	18.0	312	278	7.1	△10.9
医 薬 品	1,873	2,264	21.8	20.9	9	9	0.2	0.0
原 料 別 製 品	253	224	2.2	△11.5	716	463	11.8	△35.3
鉄 鋼	2	2	0.0	0.0	251	86	2.2	△65.7
非 鉄 金 属 製 品	2	3	0.0	50.0	15	17	0.4	13.3
機 械 類	1,736	1,398	13.4	△19.5	2,925	2,356	60.0	△19.5
発 電 機	326	246	2.4	△24.5	185	139	3.5	△24.9
産 業 用 機 械	371	302	2.9	△18.6	354	226	5.8	△36.2
通 信 機 器	165	180	1.7	9.1	210	230	5.9	9.5
電 気 ・ 電 子 機 器	135	124	1.2	△8.1	178	155	3.9	△12.9
輸 送 用 機 器	358	201	1.9	△43.9	216	185	4.7	△14.4
雑 製 品	1,461	1,438	13.8	△1.6	425	430	10.9	1.2
家 具 ・ 同 部 品	350	304	2.9	△13.1	2	2	0.1	0.0
合 計	11,027	10,408	100.0	△5.6	4,655	3,927	100.0	△15.6

最大の事例だった。

国・地域別では、EU諸国への投資額が大きく、また投資件数も多かった。主な投資としては、農薬製造ケミノバアグロが2007年12月にドイツのシュテラーインターナショナルの株式43.13%を買収した事例や、自動制御機器製造ダンフォスが同年6月、イタリアの同業ネコスと合弁企業をイタリアのベネチア近郊に設立した事例などが挙げられる。また、ダニスコは11月にリトアニアに砂糖工場を2カ所建設する計画を発表した。

EU域外では、米国が最大の投資先となっている。米国向けの大型の投資では、海運大手 A.P.モラー・マースクが270億 Dkrを投資し、米国ノーフォークに港湾施設を開設(9月)した事例が挙げられる。マースクの米国での港湾施設としては13カ所目となる。北米ではカナダにも大口の投資があり、2007年4月にセメント製造FLスミスが同業のGL&Vを48億 Dkrで買収した。

■対日貿易、投資ともに低調

2007年のデンマークの対日貿易は、輸出が前年比5.6%減の104億800万 Dkr、輸入が15.6%減の39億2,700万 Dkrと、ともに減少となった。デンマークは恒常的に対日貿易が黒字で、輸入の減少幅が輸出を上回ったため黒字幅は64億8,100万 Dkrと拡大した。

対日輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である食料品(構成比42.9%)が11.6%減と大幅な減少となったことが対日輸出不振の主因である。これは肉・同調製品(36.3%)が11.2%減と前年(16.0%減)に引き続き減少したためである。減少の理由としてはクローネ高、デンマーク産豚肉の価格が米国、メキシコ産に比べて高いこ

と、日本市場で食卓用冷蔵(チルド)豚肉需要が拡大し、加工用冷凍肉主体のデンマーク産が不利となっていることなどが挙げられる。2007年は豚肉のほか、クローネ高などから機械類(構成比13.4%)が19.5%減、家具・同部品(2.9%)も13.1%減と不振だった。そうした中、医薬品(21.8%)は20.9%増と好調だった。これは糖尿病治療薬・器具製造のノボルディスクが高齢化を背景に日本市場で売り上げを拡大していることによる。

対日輸入も、食料品を除くほとんどの品目で減少した。特に、機械類(60.0%)の落ち込み(19.5%減)が目立つ。前年まで最大の対日輸入品目であった輸送用機器は14.4%減と大幅に減少し構成比は4.7%まで落ち込んだ。これはデンマークの自動車市場が不振だったことに加え、日本の自動車メーカー各社が欧州での現地生産を拡大していることによる。

日本からの直接投資をみると、2007年も前年とほぼ同じ1億 Dkrにとどまった。2007年には目立った投資事例はないが、2008年に入ってソニーが販売拠点を20カ所設置すると発表している。

2007年のデンマークから日本への投資は、前年の13億 Dkrから2億 Dkrに減少した。投資事例では、産業用酵素製造ノボザイムズが日本法人を完全子会社化したほか、ポンプ製造のグランドフォスが、6,000万 Dkrを投資して2006年から行っていた静岡県浜松市の工場の拡張工事が終了し、2007年4月に操業を開始したことが挙げられる。